

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期倉敷市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県倉敷市

### 3 地域再生計画の区域

岡山県倉敷市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、美観地区や瀬戸内海国立公園をはじめとした豊富な観光資源、水島臨海工業地帯を中心とした企業や繊維産業などの製造業、各地域の特色ある農産品・水産物など伝統産業から先端産業まで多種多様な産業を有しており、重要伝統的建造物群保存地区をはじめとして伝統文化を守り育ててきている。また、大型商業施設、三次救急指定病院、大学等の高等教育機関などの都市機能も集積する都市である。他にも、交通の面では古くからの要衝であり、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれ災害が比較的少ないなど、大きな強み（個性と魅力）を持つまちである。

本市が2015年度に策定し、2020年度に改訂、そして市の人口動向の変化を踏まえて2025年度改訂の「第3期倉敷みらい創生人口ビジョン」では、本市の人口は、2016年（484,056人）をピークに減少しており、住民基本台帳によると2024年には473,828人まで落ち込んでいる。本市独自の将来推計によると、2050年には419,012人になる見込みである。また、年齢別の構成比について、2024年と2050年を比べると、年少人口（14歳以下）の割合が12.9%から11.0%へ、生産年齢人口（15～64歳）の割合が59.1%から53.2%へ、老年人口（65歳以上）の割合が28.0%から35.8%へ推移すると見込まれている。

社会動態をみると、2024年には転入者（13,762人）が転出者（13,243人）を上回る社会増（519人）であるが、自然動態では、出生数は1998年の4,989人をピークに減少し、2024年には3,321人となっている。その一方で、死亡数は2024年には5,852

人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は亡▲2,531人（自然減）となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、コミュニティの機能低下、伝統文化の継承困難などといった様々な問題が生じる懸念がある。

これらの課題に対応するため、出生者数の増加と死亡者数の抑制による「人口の自然増」、転入者数の増加と転出者数の減少による「人口の社会増」、さらに、広域での自治体連携により地域の総合力を高め、地域全体の活性化を図っていく「地域連携の推進」の3点を基本的な柱とし、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、倉敷市で生活している人々が「暮らし続けたい」と思うまちづくり、大都市に居住する人々から「暮らしてみたい」と思われるまちづくりに取り組んでいく。

そして、これらの取組を通じて、世代を超えて暮らし続けたい、未来に向けて暮らしてみたいまちを目指す。

- ・基本目標① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標② 受け継がれた歴史・文化の魅力を発信し、ひとを惹きつける
- ・基本目標③ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する
- ・基本目標④ 地域をつなぎ、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進める

## 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.39	1.46	基本目標①
イ	対三大都市圏との社会増減	▲1,135人	±0人	基本目標②
ウ	市内従業者数の総数※1	205,199人	201,400人	基本目標③
エ	市の人口	473,670人	466,000人	基本目標④

※1 市内従業者数総数の現状値は2021年の数値

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期倉敷市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

イ 受け継がれた歴史・文化の魅力を発信し、ひとを惹きつける事業

ウ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する事業

エ 地域をつなぎ、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進める事業

#### ② 事業の内容

ア 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

心豊かな人間関係を育む学校教育の充実を図るとともに、安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備、子育てと仕事がゆとりをもって両立できる環境の整備、学校・園、地域、家庭が連携して子どもたちを見守り、安全・安心に成長できる環境の整備を行う。

##### 【具体的な事業】

- ・拠点となる場所の提供による子育て中の親子の交流や仲間づくりの促進、子育ての悩みや不安解消のための相談支援
- ・学校園の教育活動を支援するボランティア活動の充実
- ・英語教育推進事業 等

イ 受け継がれた歴史・文化の魅力を発信し、ひとを惹きつける事業

文化芸術活動を振興し、歴史的・魅力的な景観形成の推進や、歴史文化や伝統の保存・継承・活用を図るとともに、倉敷の魅力発信と、受入環境の整備により、交流人口の増大を図る。

##### 【具体的な事業】

- ・ 3つの日本遺産を生かしたイベントの開催や情報発信
- ・ 伝統的建造物群保存地区や伝統美観保存地区内の歴史的な町並みの保存
- ・ 観光客誘致事業 等

#### ウ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する事業

商業・農業・漁業の振興や、新分野への進出・起業がしやすい環境の整備などにより産業競争力の強化と地場産業の振興、雇用の確保・充実を図る。また、若者、障がいのある方、高齢者など全ての方の社会参加や就労、学びの機会拡大を図る。

##### 【具体的な事業】

- ・ 中小企業が商工会議所や金融機関の伴走支援を受けながら行う新分野への事業展開の支援
- ・ 大学等と連携した講座の開催による地域活性化や生涯学習の推進
- ・ 企業誘致推進事業 等

#### エ 地域をつなぎ、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進める事業

スポーツ活動等だれもが取り組める健康づくりの支援、安心して利用することができる救急・医療環境の整備、中心部の利便性が向上するまちづくりなどにより、高齢者や障がい者等だれもが安心して暮らすことのできる環境を整備する。また、防災訓練や防災教育などを通じて、防災・減災意識を高め、災害に強いまちづくりを進めるとともに、ボランティア・NPOなどの自律的かつ公益的な活動等を促進し、市民・企業・団体等と一体となってSDGsの取組を推進することにより、災害に強く、各地域・地区の環境と経済と社会が調和した持続可能なまちづくりを推進する。

##### 【具体的な事業】

- ・ 災害備蓄品の支給等による自主防災組織の運営支援や防災リーダーの育成
- ・ コミュニティ協議会が行う地域課題解決のための活動や交流イベント等への支援
- ・ 防災力強化事業 等

※なお、詳細は第3期倉敷みらい創生戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

基本目標及びその目標達成に向けた施策に対し設定する重要業績評価指標（KPI）について、毎年度9月、市議会や各種団体等を構成員とする有識者会議「倉敷市まち・ひと・しごと創生有識者会議」の開催等を通じ、Plan（計画）、Do（実施・実行）、Check（点検・評価）、Action（処置・改善）のPDCAサイクルを確立し、着実な推進、進捗管理を実施する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

## 6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで